

対象国の条件：乾燥地域：中東・アフリカ諸国（A）、中央アジア・コーカサス諸国（B）

研修コース番号：(A) 201984726-J002/(B) 201984954-J002

案件番号：(A) 201984726/(B) 201984954

主分野課題：農業開発/灌漑・排水

副分野課題：

使用言語：(A) 英語/(B) 露語

案件概要

土地・水資源の管理を行う中央・地方政府の技術者や同分野の研究者を対象に、持続可能な農業に必要な土地・水資源の適正管理に関する知識や技能の向上を支援するものである。本研修を実施することで、当該地域における実務者が乾燥地の砂漠化抑制対策を国際的な視点から捉えることが可能になり、当該国家における土地・水資源の管理能力が高まることが期待される。また、当該問題を共有する実務者の国際的なネットワークが構築される。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

土地・水資源の管理を行う中央・地方政府の技術者や同分野の研究者が乾燥地における持続可能な農業に必要な土地・水資源の適正管理に関する知識や技術を習得し（A・B）、それが帰国後所属組織において共有される（A）。

【成果】

1. 日本の土地・水資源管理制度について理解し、自国との相違点を説明できる（A）。
2. 乾燥地で持続的に農業を営むために必要となる土地・水資源および施設を適正に評価し管理するためのモニタリングと解析手法を学ぶ（A・B）。
3. 圃場における水利用計画、水管理計画等の持続的農業のための水資源の適正管理に関する知識と技術を習得する（A・B）。
4. 圃場利用計画、圃場管理計画等の持続的農業のための土地資源の適正管理に関する知識と技術を習得する（A）。
5. 健全な農業・農村の振興を計画し、実践するための知識と技術を習得する（A）。
6. リモートセンシング技術を利用した地理情報管理の知識と技術を習得する（A）。
7. 帰国後の普及計画作成・発表する（A）。

【対象組織】

中央政府及び地方自治体における土地資源・水資源管理を行う部署を有する機関及びそれに関連する研究機関

【対象人材】

【資格要件】

1. 中央・地方政府、あるいは関連研究機関にて土地資源・水資源の管理に携わる者
2. 当該分野における実務経験が3年以上であること
3. 農学あるいは工学分野の学士を保有、もしくはそれと同等の学歴を有する者（博士号取得者を除く）
4. 原則として年齢は40歳以下（A）、35歳以下（B）である者
5. 英語（A）、露語（B）での研修に支障をきたさない語学力を有する者
6. PC操作（ワード・エクセル・パワーポイント）に問題が無いこと

内 容

【事前活動】

本邦研修開始段階で作成する自国と日本における土地・水資源の管理に関する比較レポートの準備として、来日までに自国の土地・水資源管理の実情を整理し、ジョブ&カントリーレポートとして作成しておく。

【本邦研修】 以下の講義、実習、視察を通し、包括的な理論・技術を習得する。

- (A) 1. 日本の土地・水管理制度、2. 地下水資源管理、3. 河川・水質管理、4. 水利施設管理、5. 圃場水管理、6. 土壌管理、7. 作物管理、8. 農村管理、9. エネルギー管理、10. 環境影響評価、11. 地理情報管理
 (B) 1. 節水（圃場レベル）、2. 節水（灌漑システムレベル）3. 水文観測技術、4. 現地見学

本邦研修期間

(A) 2019/7～2019/11
 (B) 2019/11～2019/12

担当課題部

農村開発部

所管国内機関

(A) JICA中国
 (B) JICA中国

関係省庁

文部科学省

実施年度

2018～2020

主要協力機関

(A) 鳥取大学/(B) 鳥取大学

**特記事項
及び
ホームページ**

実施時期（2018年度）：
 ・2018年7月下旬～2018年11月上旬（A）
 ・2018年11月中旬～2018年12月上旬（B）